

松本市の都市力・全国10位

日本の大手シンクタンクである(一財)森記念財団・都市戦略研究所が昨年9月に公表した「日本の都市特性評価2019」において松本市が全国主要72都市中10位となりました。

ちなみにベストテン内は、1位京都市、2位福岡市、3位大阪市と、政令指定都市などの大都市が占めるなか、松本市が大健闘しています。

この評価では、都市を構成する6つの要素「経済・ビジネス」「研究・開発」「文化・交流」「生活・居住」「環境」「交通・アクセス」において、83の指標を設定し、各都市を分析していますが、松本市は特に、「環境」(快適性、自然環境、環境パフォーマンス)が第1位、「生活・居住」(生活の余裕度、居住環境、市民生活、福祉、育児・教育、健康・医療など)が第2位と高いスコアを獲得し、「美しい自然と居住環境の豊かさ」が調和した「岳都」と評価されています。

さて私自身、都会への憧れもあり、東京の大学に進学しましたが、卒業後は松本に戻り、市の職員として奉職しました。

若い頃は、自分の居場所は他にあるような気がして焦燥感に駆られることもありましたが、遅ればせながら50歳を過ぎたころからでしょうか、日々表情を変え



高31回 伊佐治 裕子



ふるさと通信



る四方の山々の景観や、緑の田園風景、澄んだ空気と清らかな水、そして松本城をはじめとする数々の歴史遺産など、そこにあることが当たり前のように思っていたものが、実は先人たちの努力によって守られてきたかけがえないものであり、探し続けていた自分の居場所は、実はこの場所だったのだと、この地に暮らす幸せをしみじみと感じるようになりました。

(現・松本市総務部長)



小林清完元会長逝去

弔 辞

故松本県ヶ丘高校元同窓会長小林清完様の告別式に当たり、謹んで御魂の御前に弔辞を捧げます。

小林会長は、大正14年2月12日お生まれの94歳を数え、時折デイサービスに通う程度で、病むことも無く、この処好きなお酒も絶ち、健康に留意されておられ、いつも通りの生活を送られていたと伺っておりましたので、残念でなりません。ご息様の善彦さんご夫妻で、「ゆたかや旅館」を継続される中、お父様を暖かくお見守りをされました。

過ぐる平成21年8月には奥様千信様を見送り、丁度10年に成りました。私共同窓会では、ご近所小林庄司先輩の後を担う形で、平成7年には副会長、平成9年から第15代会長に就任、平成16年退任まで5期10年に亘り、同窓会活動にご尽力され

て来られました。特に、母校創立80周年記念行事では、学習会館「陵友館」の建設を始め、県民文化会館での2300名を超える「音楽祭」の開催など、自ら先頭に立って取り行われ、その感動はいまでも忘れられません。

松本市職員在勤時代の昭和62、63年頃には、母校第2グラウンド買収に、小林庄司県議と3年を費やし、大変なお骨折りをいただきました。

同窓会を退任されてからは、本会顧問として数多くの集いに参加され、我々仲間を指導激励をされました。的確な判断、人を立てることなど、多くのことを教わりました。平成25年春には、瑞寶双光章を受賞されました。小林会長のお人柄と地方行政に邁進して来られたお姿を偲ばせる立派な表彰でありました。

小林会長、貴方は既に、幽明境を異にしてしまわれ

れました。ここ湯の原の地での思いは終生忘れ得ぬことでありましょう。どうか、ご家族様始め母校同窓会をお見守りください。悲しく、寂しいお別れです。小林会長のご冥福をお祈りしつつ弔辞といたします。

令和元年七月二日

松本県ヶ丘高校同窓会会長 望 月 雄 内



小林清完元会長は、令和元年6月28日逝去されました。(享年94歳)

昭和17年3月旧制中学第15回の卒業であります。戦後、松本市役所職員として勤務、総務部長、助役を経て退任されました。同窓会には、平成7年より16年まで5期10年にわたり運営の指揮に当たられました。

ご冥福をお祈りします。(高11回 常盤 欣司)